

2011年11月10日

## 2012年3月期 中間決算について

2012年3月期(2011年度)連結中間決算は、前年同期比「減収減益」の決算

通期連結業績予想は、当期純利益で32億円の「黒字」見通し。8月4日の前回予想から42億円の上方修正

## 1. 航空取扱量について

区 分	中間期(4月1日～9月30日)				通期(4月1日～3月31日)				前回見通し (8月4日 発表)
	2010年度 実績 A	2011年度 実績 B	【増減①】		2010年度 実績 C	2011年度 見通し D	【増減②】		
			数量 B-A	% B/Ax100			実績 D-C	% D/Cx100	
航空機発着回数(万回)	9.9	9.0	△0.8	91.5	19.1	18.8	△0.3	98.3	18.3
航空旅客数(万人)	1,761	1,370	△392	77.8	3,252	2,897	△355	89.1	2,714
航空貨物量(万トン)	110	95	△15	86.8	207	191	△16	92.2	205
給油量(万kl)	246	206	△40	83.6	468	424	△43	90.7	425

## (1)2011年度中間期の実績【増減①】

- 東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所の事故、昨年10月の羽田空港再国際化等複合的な要因により、航空機発着回数、航空旅客数、航空貨物量及び給油量いずれも前年同期に比べ大幅に減少。

## (2)2011年度通期の見通し【増減②】

- 航空機発着回数及び航空旅客数は、足元では回復傾向にあるも、上記要因により前期を下回る見通し。
- 航空貨物量は、上記要因により前期を下回る見通し。
- 給油量は、航空機発着回数の減少に加え、従来からの航空機の小型化等により前期を下回る見通し。

## 2. 連結決算について

(単位:億円)

区 分	中間期(4月1日～9月30日)				通期(4月1日～3月31日)				前回予想 (8月4日 発表)
	2010年度 実績 A	2011年度 実績 B	増 減		2010年度 実績 C	2011年度 予想 D	増 減		
			金額 B-A	% B/Ax100			金額 D-C	% D/Cx100	
営業収益	980	840	△139	85.8	1,878	1,734	△144	92.3	1,664
営業利益	219	109	△110	49.7	320	181	△139	56.5	107
経常利益	176	66	△109	37.9	234	97	△137	41.4	22
中間(当期)純利益	99	30	△69	30.1	99	32	△67	32.2	△10

(注) 業績予想は、東日本大震災等の影響を含め、当社が現時点で想定した航空取扱量に基づき作成したものであり、不確定要素を含んでおります。

(決算詳細は裏面)

## (1) 経営成績の概要

営業収益は 840 億円（前年同期比 139 億円の減）、営業利益は 109 億円（同 110 億円の減）、経常利益は 66 億円（同 109 億円の減）、中間純利益は 30 億円（同 69 億円の減）の「減収減益」

- 営業収益：前年同期比 139 億円の減収
- 営業利益：前年同期比 110 億円の減益
  - ▶ 空港運営事業：航空機発着回数及び航空旅客数は、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、昨年 10 月の羽田再国際化等の複合的な要因により減少。給油量も、航空機発着回数の減少に加え、航空機の小型化等に伴い減少。空港使用料収入、旅客施設使用料収入、給油施設使用料収入いずれも減少。営業収益は前年同期比 15.0%減の 469 億円。収益の大幅減により 5 億円の営業損失（前年同期は 70 億円の営業利益）。
  - ▶ リテール事業：航空旅客数の減少により、子会社の物販・飲食収入及び一般テナントからの構内営業料収入が減少。営業収益は前年同期比 20.8%減の 209 億円。営業利益は前年同期比 34.8%減の 52 億円。
  - ▶ 施設貸付事業：事務室の返還等により土地建物等貸付料収入が減少。営業収益は前年同期比 5.5%減の 149 億円。営業利益は前年同期比 12.0%減の 62 億円。
  - ▶ 鉄道事業：成田スカイアクセス開業に伴い、線路使用料収入等が加わったことから、営業収益は前年同期比 119.8%増の 11 億円。営業利益 16 百万円を計上（前年同期は 2 億円の営業損失）。

## (2) 財政状態の概要

- ▶ 資産合計は、減価償却が進んだことによる固定資産の減少等により前期末比 187 億円減の 9,167 億円。
- ▶ 負債合計は、社債の償還等により前期末比 190 億円減の 6,808 億円。有利子債務残高は、前期末比 103 億円減の 5,466 億円。平均金利は前期末 0.03 ポイント低下し 1.46%。
- ▶ 純資産合計は、前期末比 2 億円増加し、2,359 億円。

## (3) キャッシュ・フローの概要

- フリー・キャッシュ・フローは 141 億円：前年同期比 31 億円の減少
  - ▶ 営業活動によるキャッシュ・フローは、空港使用料収入、旅客施設使用料収入、物販・飲食収入、構内営業料収入が減少したこと等から前年同期比 159 億円減の 240 億円のキャッシュイン。
  - ▶ 投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資のピークが過ぎたこと等から前年同期比 128 億円減の 98 億円のキャッシュアウト。

## (4) 通期の連結業績予想

営業収益は 1,734 億円（前期比 144 億円の減）、営業利益は 181 億円（同 139 億円の減）、経常利益は 97 億円（同 137 億円の減）、当期純利益は 32 億円（同 67 億円の減）の「減収減益」の見通し

- ▶ 営業収益は、航空取扱量が前期を下回ることにより減収。
- ▶ 営業収益の減少に伴い、営業利益、経常利益及び当期純利益はいずれも減益。
- ▶ 2011 年 8 月 4 日発表の前回業績予想からは、営業収益は 70 億円、営業利益は 74 億円、経常利益は 75 億円の上修正。当期純損益は 42 億円の上修正により、前回予想の 10 億円の損失から 32 億円の利益となる見通し。

(注) 業績予想は、東日本大震災等の影響を含め、当社が現時点で想定した航空取扱量に基づき作成したものであり、不確定要素を含んでおります。